

栃木県酪農・肉用牛生産近代化計画の概要

- 酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律に基づき、「酪農及び肉用牛の近代化を図るための基本方針」（令和7年4月公表）に調和した「栃木県酪農・肉用牛生産近代化計画」を策定する。
- 重点ポイント ①収益性の改善 ②生産基盤の維持・拡大 ③耕畜連携・自給飼料増産 ④担い手確保

現状と課題

目指す姿

取組内容

数値目標

【共通】

- ◆飼料や資材の高騰
- ◆農家の高齢化や後継者不足
- ◆長時間労働

乳用牛

- 生乳生産量の増加（規模拡大、高能力牛の確保）
- 牛乳乳製品の消費拡大

- ◇能力の高い牛の長期飼養による収益性の向上（長命連産）
- ◇農家の経営状況や飼養管理にあった指導による収益性の向上
- ◇自給飼料生産によるコスト低減
- ◇F1や和牛生産による収益性の向上
- ◇牛乳等の消費拡大の取組を推進（新規）

	R5（現状）	R12（目標）
農家戸数	592戸	450戸
総飼養頭数	54,000頭	52,500頭
1頭当たり乳量	8,541kg/年	10,000kg/年
生乳生産量	341,645t/年	400,000t/年

【乳用牛】

- ◆全国的な生乳生産量の低下

肉用牛

- 優良繁殖牛群の効率的な確保
- 繁殖性の改善
- 肥育期間短縮
- 需要に応じた牛肉生産

- ◇遺伝情報を活用した高能力牛への更新
- ◇各農家の経営状況に応じた飼養管理技術指導等による収益性の向上
- ◇乳肉複合経営や繁殖・肥育一貫など様々な経営展開の支援
- ◇各農家に応じた規模拡大の支援
- ◇様々な消費者ニーズに対応した牛肉生産の推進
- ◇牛肉の輸出拡大

	R5（現状）	R12（目標）
総農家戸数	841戸	722戸
総頭数	84,870頭	90,800頭
和牛全体	44,400頭	50,000頭
繁殖牛	13,300頭	14,000頭
肥育牛	20,900頭	25,100頭

【肉用牛】

- ◆子牛頭数の減少や子牛価格の高騰
- ◆牛肉に求める消費者需要の多様化

自給飼料

- 水田での自給飼料増産
- 堆肥の広域流通

- ◇耕種農家を中心とした飼料生産組織の育成
- ◇稲WCSの品質基準を活用した良質な自給飼料生産の拡大
- ◇耕種・畜産の双方が使いやすいストックヤードの整備支援

	R5（現状）	R12（目標）
飼料自給率	33%	37%
粗飼料自給率	81%	100%
水田での飼料作付面積	5,080ha	5,500ha

<基本施策>

- ◇就農相談から自立後の経営支援をパッケージ化した就農支援
- ◇スマート機器や外部飼料生産組織などのフル活用による労働時間の削減
- ◇暑さに強い遺伝子を持つ乳牛の導入に向けた検討や温室効果ガス排出削減（新規）に加え農作業安全対策（新規）の推進